



## 問 地域に根づくビジネス「スモールビジネス」創出の考えは

- ・ 伝統産業や地場産業、また、地域の特性を生かしたビジネス「スモールビジネス」「スタートアップ起業」をどのように事業展開させていくのか。
- ・ 営業開拓や販路開拓は、小規模企業の経営課題であり、そのための、市、商工会議所、地元金融機関を交えたマッチングシステム等の取り組みは。
- ・ 移住、定住のための地域おこし協力隊の考えは。
- ・ 起業家による学習を教育に活かさないか。

## 答 さまざまな視点から課題解決に向けて取り組んでいる

スタートアップを含む小規模企業者や個人事業主をはじめとした中小企業者に対して、起業・創業時だけでなく、その後も経営相談を受け、継続的に販路開拓などの課題解決に向けて取り組んでいる。また、地元金融機関等との連携については、市や商工会議所、商工会では、必要に応じて日本政策金融公庫や三重県信用保証協会を紹介している。地域おこし協力隊については、美杉地域において、令和7年4月からの導入に向け、募集を行っている。起業家による学習については、地域の起業家を小中学校に招いて、話を聞くなどの取り組みを実施している。

### その他の質疑・質問

- 下部田垂水線の道路改良に係る事業化について
- 津市の景観について、原風景を残すための取り組みとこれからの景観づくりについて
- ふるさと納税について現状と課題、わが町、小中学校への寄付、企業版ふるさと納税について
- 消費者被害を防ぐための取り組みは
- 夜間中学の件
- 来年度予算編成について

津市の景観計画の重点地区の一つである一身田寺内町の風景



## 問 上下水道管理・更新一体マネジメント方式について問う

標記方式と、公共施設等運営事業（コンセッション）を含めたウォーターPPPにより、水道事業を民間委託していくことを市は検討している。既に53の下水施設、2つの浄水場、および検針業務が民間委託されているが、現在と標記方式それぞれの包括的民間委託レベルはいくつか。また、運営権まで譲渡するコンセッションに移行するのは非常に問題だと考えるが、市の考えは。

## 答 委託レベルの引き上げを目指す が、当面は運営権を保持する

包括的民間委託レベルは、現在の津市上下水道事業が2.5、上下水道管理・更新一体マネジメント方式が3.5に該当する。

国は、財政状況や技術者の人員不足などの社会的な背景から、民間事業者が施設の維持管理や更新を行い運営権を持つ「コンセッション方式」と、維持管理や更新のみを行う「管理・更新一体マネジメント方式」の導入の拡大を推進しているが、まずは、本市が責任を持って老朽化した管路・施設の更新や耐震化を進める必要があることから、民間事業者に運営権を委ねる前者ではなく後者の導入を検討していく。

### その他の質疑・質問

- 一身田寺内町とJR一身田駅周辺の振興は
  - 最寄り駅と寺内町を結ぶ案内はあるのか
- 防災の備えについて
  - 防災備蓄品の充実に向け、津市で拡充が必要な物資は。段ボールベッドがさらに必要ではないか
  - 避難所の必要面積を国際基準（スフィア基準）に合わせるよう対策を進めていくべき

構内にも駅を出た所にも観光案内がなく、寺内町への案内板が欲しいJR一身田駅

